

教科	国語	科目	国語表現
履修学年	2年	履修規定・週時間	必修・1
教科書	国語表現（第一学習社）	副教材	-
<p>1. 教科・科目の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語に対する関心を深め、国語で適切に表現する能力を養い、伝え合う力を高める。</li> <li>・思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することで社会生活を充実させる態度を養う。</li> <li>・表現と理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付ける。</li> </ul>			
<p>2. 学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをもって論理的に意見を述べ、相手の考えを尊重して話し合う。</li> <li>・情報を収集、整理し、正確かつ簡潔に伝える文章にまとめる。</li> <li>・目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して話したり書いたりする。</li> <li>・様々な表現についてその効果を吟味し、自分の表現や推敲に役立てる。</li> <li>・国語の表現の特色、語句や語彙の成り立ち及び言語の役割について理解を深める。</li> </ul>			
<p>3. 学習方法</p> <p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提示された絵や題材をよく観察して、その情景を想像し、自己独自の物語を作ったり、詩や文章で表現する。</li> <li>・文章の基本的な書き方を理解し、実際に文章を書く。</li> <li>・書き上げた文章を推敲して、より良いものにする。</li> <li>・表現技法とその表現効果について理解し、表現を工夫して文章を書く姿勢を身につける。</li> <li>・日常会話の意義について考え、理想的な会話について理解し、自分の聞き方・話し方を顧みる。</li> <li>・身近なものについて説明することの必要性を理解し、実際に説明する文章を書く。</li> <li>・手紙の価値と必要性、手紙の形式をし、実用的な手紙を書く。</li> <li>・プレゼンの基本的な進め方について理解し、学校生活の中でプレゼンが必要な場合について考察する。</li> <li>・紹介文・宣伝文の必要性を理解し、留意点をふまえて、紹介文を書く。書いた文章をもとに発表する。</li> <li>・取材のしかたをふまえて取材を行う。話し手の雰囲気が出るよう工夫して聞き書きを書く。</li> <li>・方言と共通語の特徴を理解する。方言のよさを理解し、方言と共通語を適切に使い分ける態度を養う</li> <li>・意見文を書いたり他の人の発表を聞いたりすることにより、ものの見方や考え方を広げる態度を養う。</li> <li>・意見文の書き方をふまえ、テーマについて自分の意見をまとめて意見文を書く。</li> </ul> <p>家庭学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容の予習・復習</li> <li>・漢字の練習</li> </ul> <p>その他</p>			
<p>4. 宿題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の構想作り。</li> <li>・実施課題の構成、訂正、完成。</li> <li>・長期休暇を利用してのワークブック</li> </ul>			
<p>5. その他</p>			

